

令和6年7月23日
15時00分～
宇都宮市役所本庁15A会議室

宇都宮市大谷地域観光交通対策推進会議（第4回） 次第

- 1 開会
- 2 議長あいさつ
- 3 説明事項
 - （1）令和6年度GWの実施内容・結果について
 - （2）令和6年度のお盆の実施内容案について
- 4 その他
- 5 閉会

○出席者（敬称略）

所 属		氏 名	備 考
宇都宮大学	准教授	長 田 哲 平	
	教授	横 尾 昇 剛	
関東自動車(株)	路線バス部主任	星 野 雅 裕	
栃木県タクシー協会	専務理事	鉢 村 敏 雄	欠席
城山地区コミュニティ協議会	会長	菊 地 重 栄	
城山地区連合自治会	会長	福 田 公 生	
（特非）大谷商工観光協力会	会長	大久保 裕之	
（一社）宇都宮観光コンベンション協会	事務局長	緒 方 秀 徳	
栃木県警察本部 交通規制課	課長補佐	村 上 晃 規	
宇都宮中央警察署 交通総務課	規制係長	佐 山 茂 幸	
栃木県	交通政策課長補佐 (GL)	膽 畑 吉 孝	
	道路整備課副主幹	大 谷 哲 生	
	宇都宮土木事務所 企画調査課 部長補佐兼課長	神 山 雅 行	欠席
宇都宮市	交通政策課長	田 代 卓 也	
	大谷振興室長	松 本 剛	
	技術監理課長補佐	水 沼 尚 子	
	道路建設課長	鎌 田 淳	

[事務局：交通政策課，観光 MICE 推進課 大谷振興室，(株)アール・ピー・アイ]

第4回宇都宮市大谷地域 観光交通対策推進会議

【概要】

令和6年度のGWの観光交通推進事業の実施結果およびお盆の取組内容について意見交換を行うもの

令和6年7月23日

宇都宮市 魅力創造部 観光MICE推進課 大谷振興室

1. 大谷地域の目指す交通環境（将来像）
2. 大谷地域の観光入込客数の推移
3. 大谷地域における交通対策の進め方について
4. GWの実施内容・結果について
5. お盆の実施内容案について

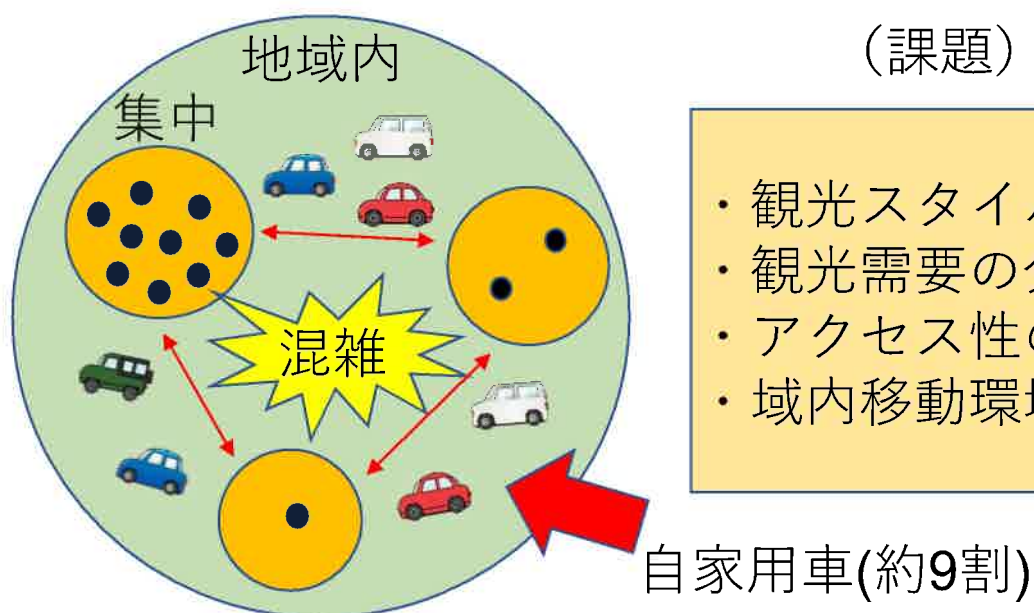
参考：シェアサイクルの取組みについて

参考：ワンデypassポートの宮PASS連携について

1. 大谷地域の目指す交通環境（将来像）

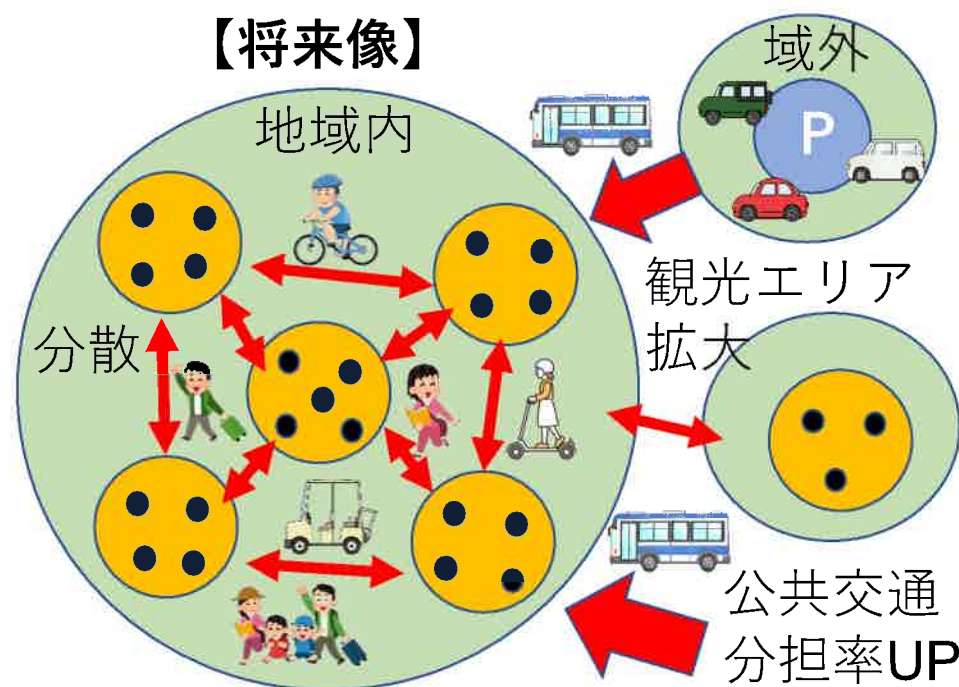
本市の観光拠点である大谷地域において、目標とする年間観光入込客数120万人の実現に向けて、**誰もが安全かつスムーズに来訪し、地域内を快適に周遊・滞在できる交通環境**の構築を目指す。

【現状】



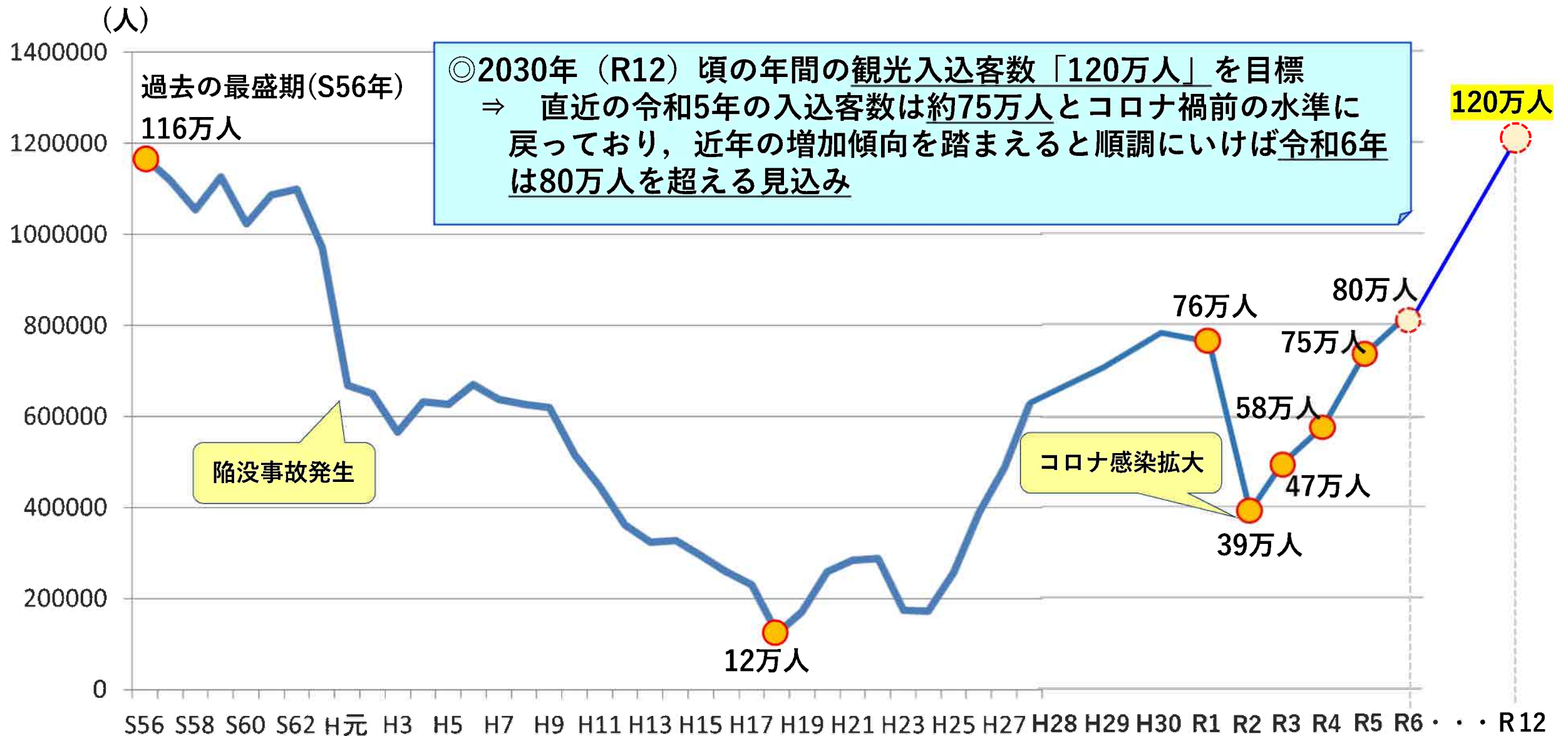
- ・自動車中心の観光スタイル（来訪・域内移動）
- ・特定の観光施設へ来訪が集中
- ・歩行空間等が十分に確保できていない
- ・大型連休（GW・お盆）のピーク時に混雑が発生

【将来像】



- ・自動車以外でも便利に来訪できる
- ・徒歩や自転車，その他の地域内交通で安全かつ快適に周遊
- ・長時間の滞在を楽しめる観光地
- ・年間を通して賑わう観光地

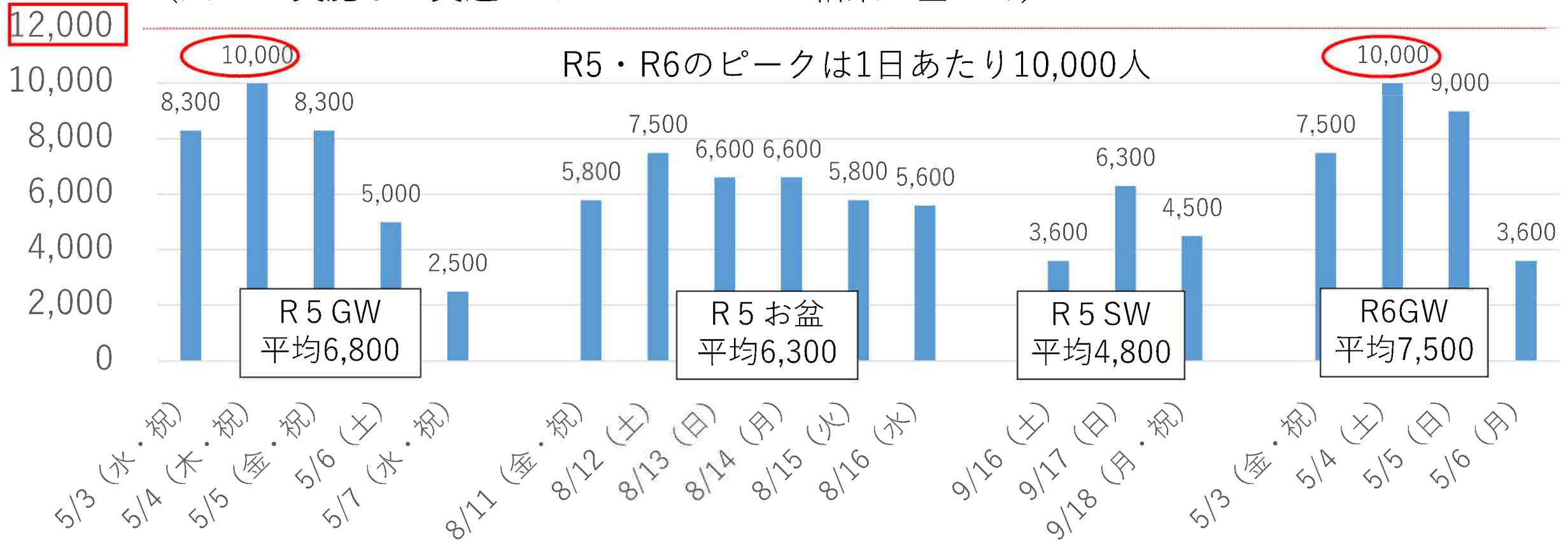
2. 大谷地域の観光入込客数の推移



2. 大谷地域の観光入込客数の推移

◎R5・R6年度の大型連休における観光入込客数の推計 ※観光施設への聞き取りを基に推計

地域内の既存駐車場での受入許容量は、**1日あたり約12,000人**
(※R1に実施した交通シミュレーションの結果に基づく)



⇒ 渋滞緩和と快適な周遊環境の向上に向けた取組が求められている。

3. 大谷地域における交通対策の進め方について

第1~3回会議資料を
ベースに時点修正

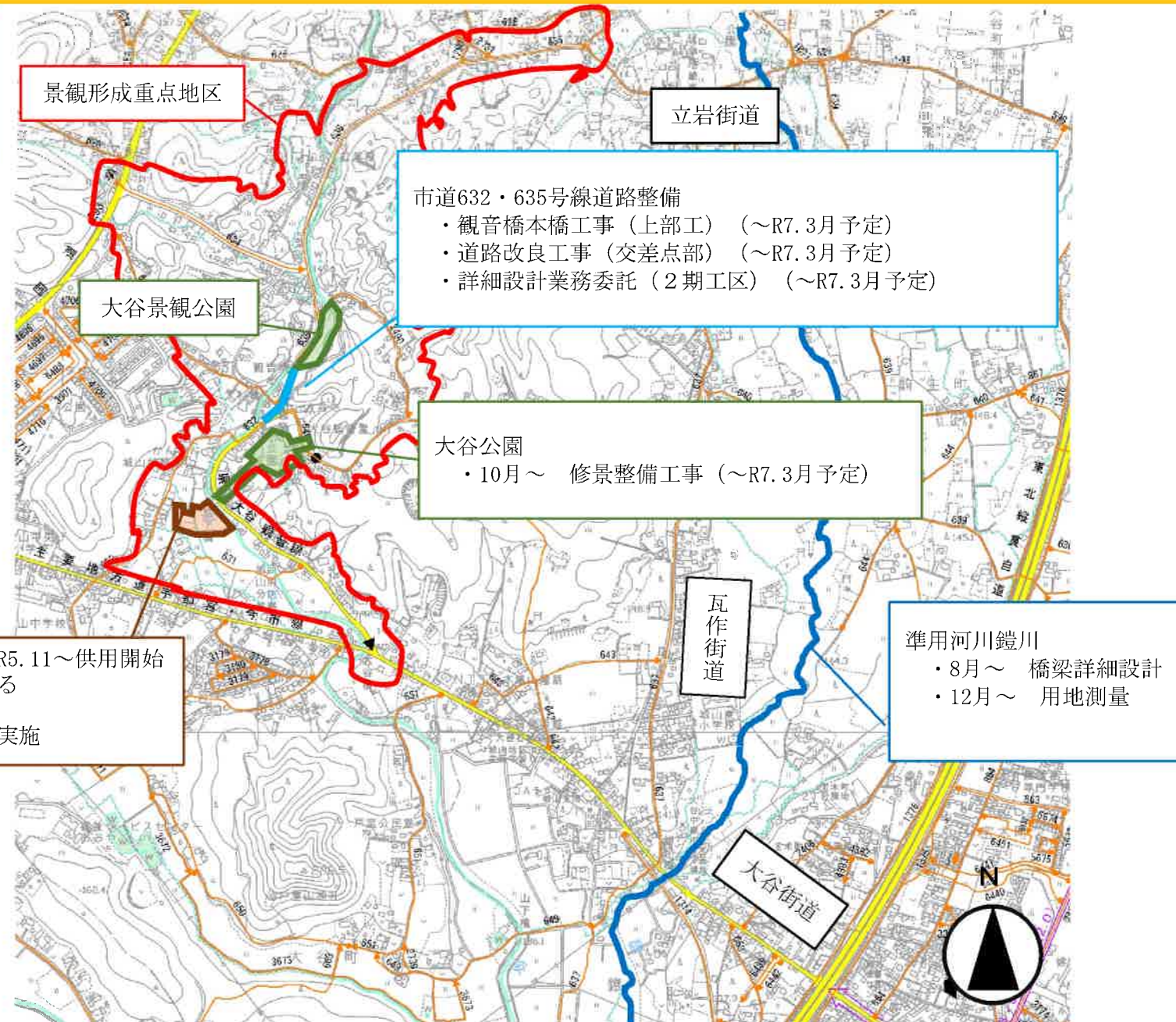
宮市
miya City

期間	現状：令和1~4年度	直近：令和5~6年度	短期：令和7~9年度	中期：令和10~12年頃
観光入込客数	—	年間80万人に対応	年間100万人に対応	年間120万人に対応
達成イメージ	≪ステップ①≫ ➡即効性のあるソフト対策により、大型連休における交通混雑を緩和（主な取組） 交通誘導・混雑情報発信・グリスロ運行	≪ステップ②≫ ➡地域内の移動環境向上、ハード整備による交通容量拡大（ボトルネック解消） （主な取組） グリスロ運行・案内機能の充実 交差点改良・歩行環境の向上	≪ステップ③≫ ➡域外からの自動車流入を抑制し、地域内を徒歩・自転車・グリスロ等で周遊する観光スタイルへ転換 （主な取組） パーク&バスライド・歩道整備・域内移動手段の充実	≪ステップ④≫ ➡観光エリアの拡大に伴う導線の整備 ➡広域連携による観光需要の分散化等（主な取組） 各交通モード間の連携強化・広域エリアマネジメント
道路 (域外からのアクセス向上)	・県道70号宇都宮今市線大谷交差点の改良【県】	・宇都宮今市線の改良【県】 ・通過交通の迂回を誘導する看板の設置	・宇都宮今市線の改良【県】 ・（仮称）大谷SICの供用開始（R7目途※用地取得が順調に進んだ場合） ・（仮称）大谷SICからの案内誘導看板の設置	・宇都宮今市線の改良【県】 ・エネルギーコアにおける周遊性の向上（短期～）
道路 (域内の交通円滑化)	・市道632・635号線における歩行、自転車等走行空間の確保(第1期)（～直近） ・観音橋周辺の改良（拡幅）（～直近）	・大谷寺前交差点の改良（ラウンドアバウト） ・市営駐車場前の横断対策（路面標示）	・観光の裏道ルートにおける周遊性の向上 ・市道632・635号線における歩行、自転車等走行空間の確保(第2期)	・市道632・635号線から拠点施設への歩行、自転車等走行空間の連続性を確保【県道区間】 ・観光の裏道ルートにおける周遊性の向上（継続）
駐車場	・満空情報の発信及び誘導方法の改善 ・臨時駐車場(地域内・フリンジ)の確保	・効率的な情報発信、誘導方法の検討 ・臨時駐車場（フリンジ・地域外）の検証	・臨時駐車場（地域外）の確保 ・満空情報等の効果的な情報発信の検討	・臨時駐車場（地域外）の確保（継続） ・満空情報等の効果的な情報発信
河川	・姿川の改修計画【県】	・姿川上流への調整池整備【県】	・管理用通路を活用した歩行、自転車等走行空間の確保（～中期）	・姿川の河川改修完了
道路沿線	・街並み景観の改善（継続） ・大谷公園参道の改修	・大谷コネクトの供用開始（R5.11.20） ・観光客向けの案内看板の充実 ・歩行者滞留スペースの確保	・観光客向けの案内看板の充実（継続） ・歩行者滞留スペースの確保（継続） ・大谷公園の再整備 ・景観公園の再整備	
公共交通 2次交通	・観光型MaaS等の社会実験の実施 ・路線バスの上限運賃制度の導入 ・グリスロの試行	・路線バスの充実 ・フリー乗車券等検討・導入 ・バス待合環境の整備 ・シェアリングサービス等の検証 ・グリスロ運行体制強化等	・シェアリングサービスの導入 ・近隣観光地との連携強化 ・域内移動手段の提供(グリスロ運行の継続)	・近隣観光地との連携強化（継続） ・域内移動手段の提供(グリスロ運行等の継続)
交通規制			・大型連休のピーク時間帯における観光の中心エリア（センターコア）への自動車流入規制の検討・検証	・大型連休のピーク時間帯における観光の中心エリア（センターコア）への自動車流入規制
パークアンドバスライド	・パークアンドバスライドの試行	・パークアンドバスライドの有効な手法の検証	・大型連休におけるパークアンドバスライドの実施	・大型連休におけるパークアンドバスライドの実施
情報発信	・混雑ピーク日分散化 ・社会実験等の取組の発信	・混雑ピーク日分散化(継続) ・地域内における観光需要の分散化	・混雑ピーク日分散化(継続) ・周辺観光施設等と連携した観光需要の分散化	・混雑ピーク日分散化(継続) ・周辺観光施設等と連携した観光需要の分散化(継続)

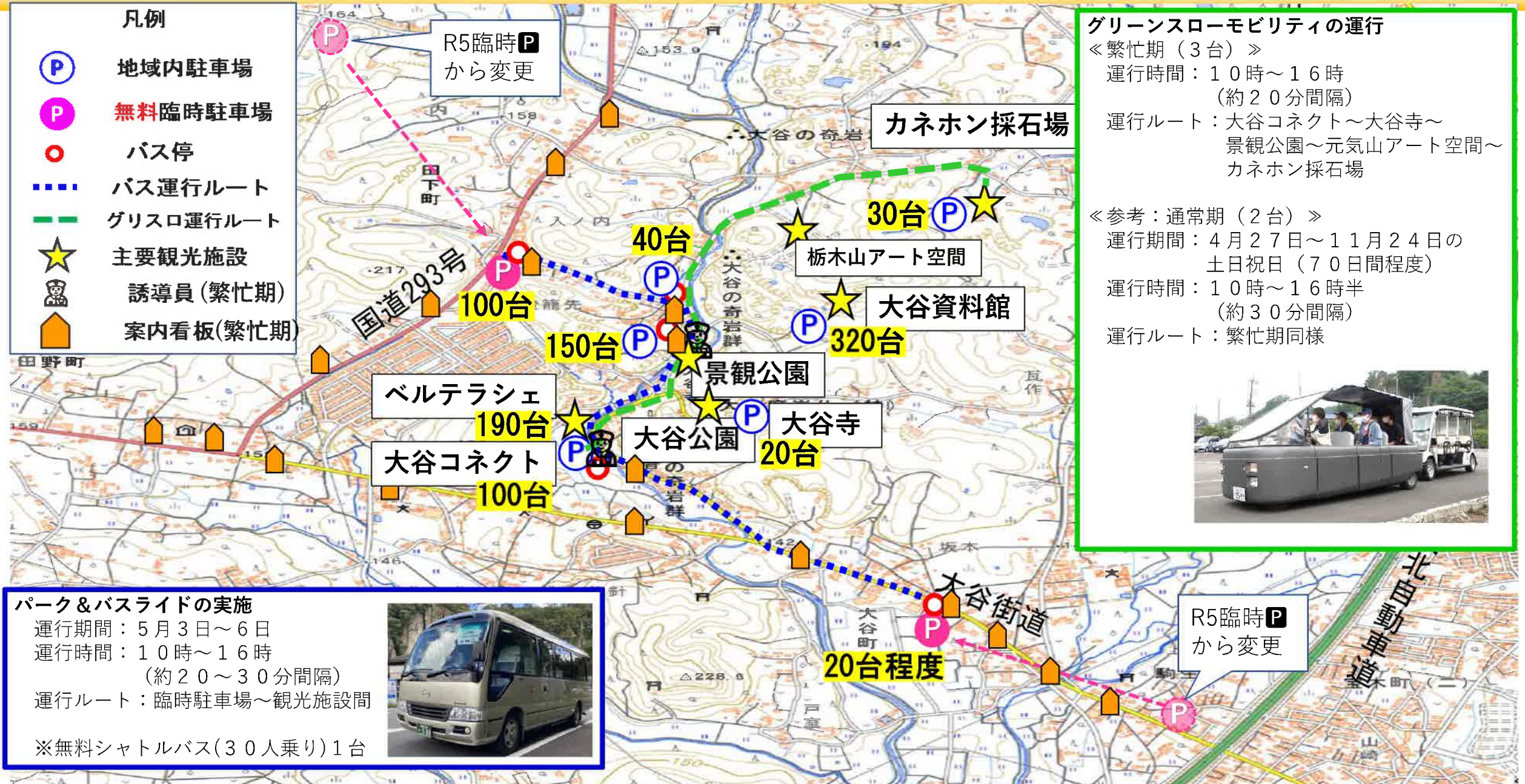
網掛け 〓 今後実施を検討していくもの
 二重線 〓 実施予定
 下線 〓 実施中
 赤字 〓 R6 観光交通推進事業の取組
 太字 〓 実施済

3. 大谷地域における交通対策の進め方について

宇都宮市における ハード面も含めた R6の主な取り組み



4. GWの実施内容・結果について



4. GWの実施内容・結果について

(1) 実施期間及び入込客数

日程：令和6年5月3日(金・祝)～5月6日(月・祝) 合計4日間

時間：午前10時～午後4時(6時間)

入込客数： ※ 主要観光施設への聞き取りにより推計

	3日	4日	5日	6日	日平均	合計
大谷地域	7,500人	10,000人	9,000人	3,600人	7,500人／日	30,100人

総評：ピーク日はコロナ前の令和元年とほぼ同等の入込客数であり、コロナ禍以前の水準に回復してきている。

【参考】過去の入込客数の実績

実施時期		R1・GW	R1・お盆	R4・GW	R4・お盆	R5・GW	R5・お盆
日数		10日間	9日間	3日間	3日間	5日間	6日間
大谷地域	ピーク日	10,000人	11,700人	5,800人	7,500人	10,000人	7,500人
	日平均	7,200人／日	7,700人／日	5,200人／日	6,400人／日	6,800人／日	6,300人／日
	合計	72,700人	69,700人	15,800人	19,200人	34,100人	37,900人

4. GWの実施内容・結果について

(2) 実施内容・結果

ア 情報発信

- ・ 駅周辺レンタカー店等や市内各観光施設，近隣観光地（日光市観光協会）へのチラシ配布
- ・ 市・観光コンベンション協会HP，大谷資料館等観光施設HP，市広報紙等を活用し，GWの取組内容について事前に情報発信

イ 駐車場の配置・運用，臨時駐車場案内看板の設置

① 地域内（計700台）

大谷コネクト：100台，ベルテラシェ大谷：90台，大谷寺：20台
大谷資料館（第2～第6）：360台，カネホン：30台 他
⇒ 混雑が予想される大谷コネクト・大谷資料館に誘導員を配置

② パークアンドバスライド駐車場（計120台）

臨時駐車場①：20台（城山地区市民センター）
臨時駐車場②：100台（多気山不動尊参拝者駐車場）
⇒ 臨時駐車場への誘導看板を設置（右写真）



4. GWの実施内容・結果について

【参考】地域内の主な駐車場の利用状況（％）

5月3日

	資料館					多気山	コネクト	ベル
	第二	第三	第四	第五	第六			
10時	90	40	90	0	0	0	41	9
11時	100	70	90	20	40	10	74	24
12時	100	70	90	60	60	10	100	42
13時	100	90	90	60	50	10	100	57
14時	100	90	80	80	70	10	100	55
15時	100	80	90	70	60	10	100	66
16時	90	80	60	40	50	0	83	41

5月5日

	資料館					多気山	コネクト	ベル
	第二	第三	第四	第五	第六			
10時	100	100	100	100	20	50	44	10
11時	100	70	80	80	100	20	100	35
12時	100	80	80	80	100	10	100	66
13時	100	80	80	80	100	10	100	76
14時	100	60	70	80	90	10	100	83
15時	100	50	60	70	90	10	100	69
16時	100	30	30	70	50	10	97	56

5月4日

	資料館					多気山	コネクト	ベル
	第二	第三	第四	第五	第六			
10時	100	100	100	90	100	10	40	7
11時	100	100	100	100	100	10	85	38
12時	100	100	100	100	100	20	100	57
13時	100	100	100	100	100	30	100	85
14時	100	100	100	100	100	60	99	78
15時	100	100	100	100	100	70	97	71
16時	100	100	100	90	90	50	82	59

5月6日

	資料館					多気山	コネクト	ベル
	第二	第三	第四	第五	第六			
10時	70	0	0	0	0	0	35	15
11時	100	0	20	10	0	0	54	12
12時	100	0	20	10	0	0	56	27
13時	80	0	20	0	0	0	63	39
14時	80	0	10	0	0	0	68	29
15時	70	0	10	0	0	0	44	24
16時	60	0	10	0	0	0	30	13

総評：最も来訪者が多かった4日については、大谷コネクト・大谷資料館駐車場（第2～第6）において、長時間にわたって、ほぼ満車の状態が続き、入庫待ちによる一時的な混雑は発生したものの、民間施設と連携した交通誘導等により平成30年に発生したような大規模な混雑（資料館を起点とした南北約1～2kmの渋滞）は発生しなかった。

4. GWの実施内容・結果について

ウ パークアンドバスライド（以下、P & B R）の運行

混雑区間への自動車流入の抑制等を図るため、臨時駐車場を設け、臨時駐車場～主要観光施設間において、マイクロバスによる無料送迎を実施（約20～30分間隔での運行）し、臨時駐車場利用者には無料でワンデypassポートEプラン（グリーンスローモビリティ乗車＋飲食店等のクーポン、通常500円）を配布

【今回の見直し】

- ・臨時駐車場の配置を分かりやすい位置へ見直し，チラシ内にGoogleマップに繋がるQRコードを掲載
- ・地域内の乗降所を主要観光施設の付近に設けることで地域内の移動手段（大谷コネクト⇄大谷資料館）としても利用可能に
- ・「無料臨時バス」であることが分かりやすいようバスの前後や側面にラッピング表示
- ・臨時バス内での観光パンフレット等の配布や動画のQRコードの掲載



4. GWの実施内容・結果について

P & B Rの結果（延べ乗車人数）

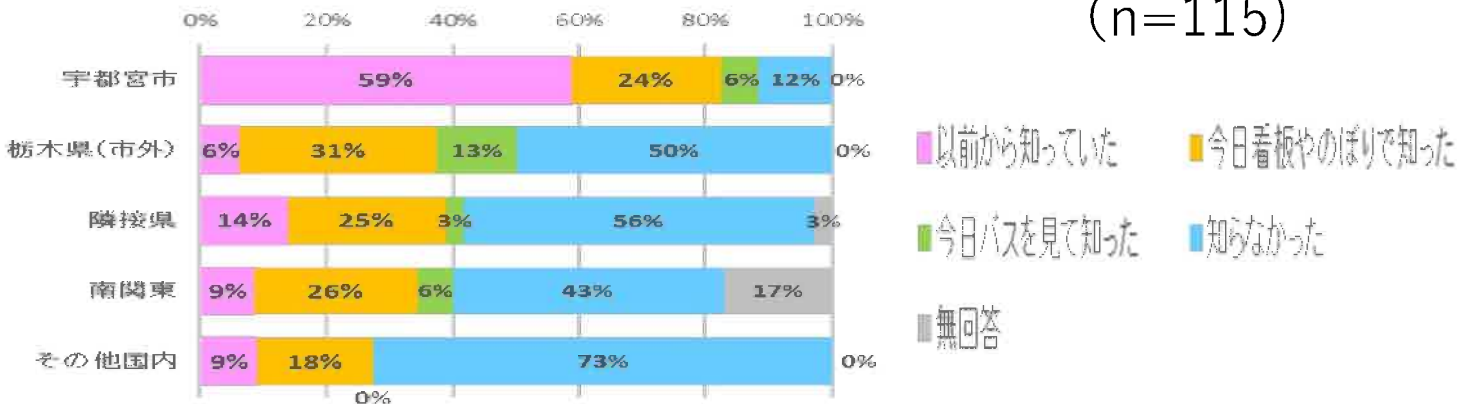
- 4 日間で計 2 6 0 人が利用した。（6 5 人/日）

乗車場所	3 日	4 日	5 日	6 日	合計
臨時駐車場（城山地区セン）	17人	5人	29人	3人	54人
臨時駐車場（多気山）	15人	34人	29人	3人	81人
地域内バス停	51人	22人	48人	4人	125人
合計	83人	61人	106人	10人	260人

【参考】過去の乗車人数の実績（合計）

実施時期	R 1・GW	R 1・お盆	R 5・GW	R 5・お盆
日数	1 0 日間	9 日間	5 日間	5 日間
乗車人数	3 5 人（3 人/日）	9 人（1 人/日）	1 4 7 人（2 9 人/日）	5 7 人（1 1 人/日）

【参考】P & BR認知度（住まい別）アンケート結果 (n=115)



総評：臨時駐車場位置の見直しや、事業の定着により、利用者は過去最高の人数となった。アンケートにおいても、市内からの来訪者のおおよそ59%は以前からP & BRについて知っていたと回答し（昨年お盆41%），市内での認知度は高まっていることが伺えるものの、市外の方への周知については今後の課題である。

4. GWの実施内容・結果について

エ グリーンスローモビリティ（以下、グリスロ）の運行

地域内における自動車のうろつきや特定の観光施設への一極集中を避け、自動車以外で周遊する観光スタイルへの転換を図るため、大谷コネクト～カネホン採石場の区間において、グリスロ3台（7人乗り1台，6人乗り1台，4人乗り1台）による運行（約20～30分間隔）およびワンデypassポートの販売を実施し，4日間で延べ692人が利用した。また，公共交通の利用促進のため，「大谷観光一日乗車券（関東自動車）」利用者はグリーンスローモビリティにも乗車可能とした。

	3日	4日	5日	6日	合計
延べ乗車人数	173人	223人	210人	86人	692人 (173人/日)

【参考】過去の乗車人数の実績（ピーク日）

実施時期	R1・GW	R1・お盆	R4・GW	R4・お盆	R5・GW	R5・お盆
使用車両	7人乗り2台	16人乗り1台	7人乗り2台	7人乗り2台	7人乗り2台， 4人乗り1台	7人乗り2台， 4人乗り1台
乗車人数	約600人	約400人	約250人	約300人	約330人	約160人

※ R1は使用車両や運行ルートが現在と大きく異なるため，単純な比較は困難

※ R5お盆よりワンデypassポート購入者（有料），パークアンドバスライドおよび大谷一日観光乗車券利用者（無料）を対象とした運行に変更

総評：ワンデypassポート購入者のほか，P&BRや「大谷観光一日乗車券」利用者へのインセンティブとして運行を行ったが，アンケートでは特に3回目以上の来訪者の方が「モビリティ乗車」を来訪目的の一つとして挙げる方も見られるなど，自動車以外で周遊を行う観光スタイルへの転換につながっている。

4. GWの実施内容・結果について

オ 無料レンタサイクルの実施

大谷コネクト内で無料のレンタサイクルを実施（新規）

- 無料で7台の自転車の貸し出しを行い、4日間で計22人が利用した。

	3日	4日	5日	6日	合計
利用人数	10人	2人	10人	0人	22人
利用組数	5組	1組	3組	0組	9組



※ 1組あたりの平均利用人数 2.4人／組（最小1名，最大4名）

※ 平均利用時間は1時間35分（最短50分，最長2時間30分）

総評：アンケートでは、「混雑を回避し快適に移動できた」「大谷ならではの自然を楽しめた」など、満足度が高く（大変良い64%，やや良い36%），肯定的な意見が多くみられた。主な立ち寄り先としては，大谷地域内の観光施設（大谷資料館・大谷寺・大谷公園・大谷景観公園・カネホン採石場）のほか，近隣の観光スポットである若山農場へ立ち寄るケースも見られ，観光施設を巡る手軽な移動手段としての有効性が感じられた。

5. お盆の実施内容案について

交通渋滞対策【拡充】



<主な取り組み内容>

- ・ 誘導員の配置
- ・ P & BRの運行
- ・ 誘導看板の設置
- ・ 公共交通の利用促進
- ・ SNSでの混雑情報の発信, 臨時駐車場への誘導

車でのうろつき抑制・周遊促進 (特定の観光地への交通集中分散)

【新規・拡充】



<主な取り組み内容>

- ・ グリーンスローモビリティの運行
- ・ 周遊クーポンの販売
- ・ 大谷コネクトを出発点とした観光スタイルの確立
- ・ シェアサイクル (民間)

快適な滞在環境の創出, 観光地としての満足度向上【新規】

<主な取り組み内容>

- ・ 大谷コネクトや大谷景観公園での暑さ対策 (ミストシャワー設置など)
- ・ 大谷観音前バス停付近の休憩場所の設置
- ・ 観光客の多い大谷景観公園内への観光案内ガイドの配置
- ・ 各停留所への日よけテント設置

5. お盆の実施内容案について

改善点	内容
P & BRの定着に向けた改善【拡充】	➤情報の入手先として最も回答が多かったSNS（約27%）を活用し、地域の観光施設や飲食店等と連携したP & BRの事前周知の強化 ➤SNS（大谷地域公式X(旧Twitter)）を活用した当日の混雑情報の発信 ➤前後の立ち寄り先として回答が多かった駅周辺・日光市等へのチラシ設置 ➤臨時バス内部のほか、臨時バス停の待合環境改善（観光情報、大谷地域に関するクイズ等の掲載） ➤大谷資料館付近（南行）の臨時バス乗降位置をより近く、わかりやすい場所に設定し、地域内の移動手段としての利用も促進
様々な移動手段の提供【新規】	➤域内の手軽な移動手段の一つとして、民間による「シェアサイクル」の取組み ⇒詳細は「（参考）シェアサイクルの取組みについて」参照 ➤パンフレットを活用した徒歩等での周遊促進

5. お盆の実施内容案について

改善点	内容
観光客の快適な滞在環境の創出，満足度向上【新規】	➢大谷コネクトや大谷景観公園での暑さ対策（ミストシャワー設置など） ➢大谷観音前バス停付近の休憩場所の設置 ➢日よけとして，グリーンスローモビリティ各停留所等へのテント設置 ➢観光客の多い大谷景観公園内への観光案内ガイドの配置  (イメージ) 休憩場所
大谷コネクトを中心とした観光案内・周遊機能の強化【拡充】	➢「大谷コネクト」を起点とした回遊パターンが最も地域全体での周遊や滞在に繋がっている（R5の検証結果に基づく）ことから，来訪者をまずは大谷コネクトへ誘導し，そこから様々な移動手段で地域を周遊する観光スタイルを確立するための情報発信・拠点機能の強化 ➢周遊促進に向けたイベント開催（大谷コネクトでは10日にオーガニック野菜のイベント，11日に音楽イベントへの貸出が予定されているほか，14・15日は大谷公園にて「大谷石夢あかり」祭が開催）

(参考) シェアサイクルの取組みについて

大谷地域の更なる魅力向上とラストワンマイルを支える新たな交通手段による回遊性の向上に向け、民間により地域の観光スポットをつなぐシェアサイクルサービスを行うことを予定しています。

(1) 実施期間等 (予定)

令和6年8月9日(金)～10月27日(日) (平日も含む)
電動アシスト付き自転車「Future1000」
計12台を運用

(2) 利用方法 (予定)

専用アプリ「GOGO!シェア」により貸出・返却・決済、アンケートを実施
※ 安全面を考慮し、ヘルメットは各自転車の前カゴに配置予定

(3) 利用料金 (予定)

① 3時間乗り放題プラン

(3時間1,000円, 延長料金100円/15分)

⇒大谷をはじめ、北西部地域もゆっくり楽しく周遊したい方向け

② 初乗り料金+従量料金プラン

(200円/15分, その後100円/15分)

⇒周辺の観光施設を手軽に効率よく周遊したい方向け

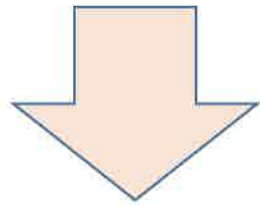
ワンデイパスポート利用者は
1回目の初乗り料金無料



※ 利用状況を考慮し自転車は随時再配置予定

(参考) ワンデypassポートの宮PASS連携について

各施設の入場料や飲食店等のお得なクーポン，グリーンスローモビリティの乗車がセットになった，「ワンデypassポート」について，自治会加入世帯に1枚配布される「宮PASS」との連携（Eプラン無料プレゼント）を予定



大谷地域内の周遊促進

市民のグリーンスローモビリティの理解・利用促進



第2期 令和6年5月1日～令和11年4月30日

カード提示でうれしい優待を上げられる！



宇都宮市自治会連合会では、自治会に加入している皆様にご利用いただけるよう、各施設と割引やサービス特典契約をしています。お食事や施設の利用は「宮PASS」を使ってうれしい特典をぜひ！

LET'S ENJOY OYA

大谷をもっと楽しむ。

ONE DAY PASSPORT 2024 4.27 (Saturday) ~ 11.24 (Sunday)

大谷地域の観光施設や飲食店、市土産屋を初めに楽しめるワンデypassポートを発売中！
モビリティに乗って大谷周遊も楽しめます。

—— モビリティで散策できる主な施設 ——

- ① 大谷資料館
- ② 大谷寺
- ③ カネヤン採石場
- ④ 坂本山アート空間

—— 全てのプランに周遊クーポン付き ——

プラン	内容	大人料金
A PLAN	①大谷資料館・②大谷寺・③カネヤン採石場・④坂本山アート空間・周遊クーポン	¥2,300
B PLAN	①大谷資料館・②大谷寺・周遊クーポン	¥1,800
C PLAN	①大谷寺・②カネヤン採石場・周遊クーポン	¥1,500
D PLAN	③カネヤン採石場・④坂本山アート空間・周遊クーポン	¥1,300
E PLAN	周遊クーポンのみ	¥500

事前予約販売 LINE 大谷ツアー公式LINEをQRコードから追加して注文ください